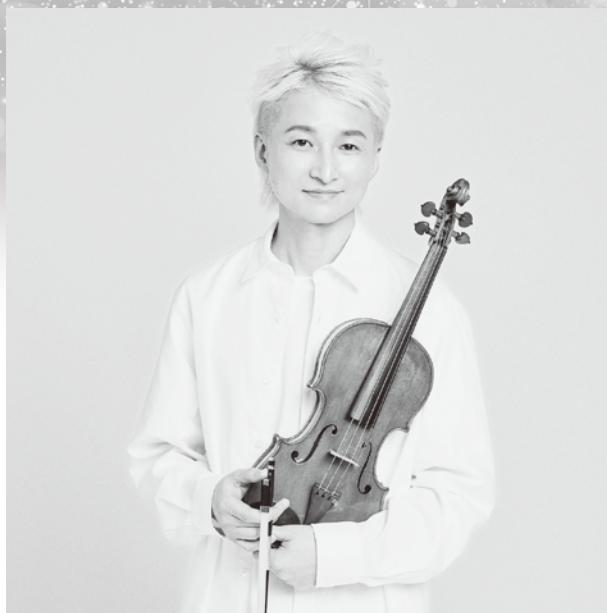


PROFILE

NAOTO



2019年9月にポルノグラフィティのデビュー20周年東京ドーム公演に、シークレットゲストとして出演。SNS上で話題になりTwitterトレンドで世界第1位になる。Shick「ハイドロ5カスタムコンフォート」のスペシャルムービーに出演、250万回再生を突破した。作曲家として、NHK「スタジオパークからこんにちは」を始めとするテレビ番組やたくさんのCM、劇団TEAM NACSの主宰公演の音楽監督を担当。東日本大震災以降、福島県須賀川市の中学校を定期的に訪問し、その活動が認められ2015年に須賀川市観光牡丹大使に就任。日本スープカレー協会広報宣伝担当理事、カレーマイスターの資格取得、ラジオパーソナリティー、TV朝日系列「関ジャム∞完全燃Show」「マツコの知らない世界」出演など、活動は多種多彩に渡る。ますます進化を続けるNAOTOにさらなる注目が集まっている。



→Pia-no-jaC←

2005年4月結成。HAYATO(Piano)、HIRO(Cajon)の二人で構成されるインストゥルメンタルユニット。

→Pia-no-jaC←についている矢印は、左から「Piano/ピアノ」、右から「Cajon/カホン」と読ませるためのもの。「ピアノとカホン、二つの楽器でライブ空間をジャックする」という意味が込められている。

ディズニーやゲーム音楽とのコラボレーション、宝塚歌劇団への楽曲提供など多方面での活動を展開。2012年7月にはヴァイオリニスト葉加瀬太郎とコラボレーションアルバム発売。オリジナル曲とクラシックカバーを様々な演出を駆使して披露するライブパフォーマンスは国内外から絶大な支持を受けている。鍵盤と打楽器だけというシンプルな構成ながらも、力強く激しいピアノの旋律と独特な存在感をもつカホンの音色がせめぎ合うスリリングかつ重厚な演奏はオーケストラ並みの迫力。ジャズでもクラシックでもない、「ハイブリッド・インストゥルメンタル」という斬新なジャンルを確立した。

伊藤ハルトシ



3歳からチェロ、14歳からギターを始める。18歳よりプロ活動を始める。

Rock、Blues、Jazz、R&B、worldmusic、クラシックなどをルートとし、ポップスサポートやインストゥルメンタル、様々な分野で活動中。

最近では、平原綾香、ELAIZA、大黒摩季、小野リサ、秦基博、岡本真夜、MyLittleLover、広瀬香美、中孝介、辛島美登里、森恵、澤野弘之等のライブサポート、テレビドラマ、映画、CM、アニメ等のレコーディングで活躍中。